松江赤十字病院広報誌
くつろぎたいむ
Vol.76
2021 Spring

放射線科に新しい治療装置が導入

令和3年4月
運用開始

山陰初

バイプレーンIVR・CTシステム

放射線科部長　大内　泰文

当院では、頭部から腹部における血管内治療をより安全に、より確実に実施するため、この度最新のバイプレーンIVR-CTシステムを中国地方で2番目に、山陰では初めて新規導入致しました。

当院が導入したこのシステムは、世界的にも数少ないバイプレーンタイプ（Cアームを2つ搭載するタイプ）です。

CT撮影

2方向で撮影

2方向から同時に体内を観察することで、複雑に蛇行した血管も正確に把握でき、より安全確実に手術を受けられるほか、時間短縮にも期待ができます。

また併設したCT装置でより高度で正確な血管内治療が可能となりました。これらの装置はともに最新のシステムなので、患者様のX線被ばくは以前より少なくなります。

疑問や不安なことがある方は、放射線科部までお尋ねください。

Clinical Department

診療科紹介

放射線科

こんにちは、放射線科です。我々は医師4名（画像診断専門医3名：うち1名IVR専門医、放射線治療専門医1名）、診療放射線技師25名、看護師5名、クラーク4名で構成される、病院中央部門の一翼を担う診療科です。我々の診療内容ですが、放射線科に直接受診するケースは限られており、知らない方も多くいらっしゃるのではないでしょうか。その主な仕事には三つの分野があります。

最初は画像診断です。X線（レントゲン）を人体に照射し、そこから得られた情報を様々なコンピューターを駆使して人体内部を画像化し、体内に起こっている変化や病気を診断しています。この撮影装置には胸のレントゲン写真に代表される一般撮影装置やCT、血管撮影装置などがあります。PET／CTに代表される核医学検査では、ラジオアイソトープという微量の放射線を放出する物質を人体に投与し、その代謝過程を画像化して病気を診断しています。またX線同様に磁場を利用し人体内を画像化し診断を行うMRIや、超音波断層装置を用いて透析シャント患者さんのシャント状態の診断も行っています。

次に行っている仕事は、得られた画像を元に大きな侵襲を加えることなく局所麻酔下に治療を行うIVR（アイブイアール：画像下治療）、いわゆるカテーテル治療です。この4月には血管撮影装置にバイプレーンIVR-CT装置が導入され、より高精度な治療ができるようになります。このIVRでは難治性鼻出血、喀血、外傷後・術後の腹腔内出血、産科出血や腫瘍出血などに対する血管塞栓術、内臓動脈瘤や肺動静脈奇形、肝細胞癌などの腫瘍の治療のための塞栓術、腎機能廃絶術、透析シャント狭窄・閉塞に対する血管拡張術などの血管内治療や、体内でできた膿を手術することなく治療するドレナージなどを行っています。

最後は高エネルギー放射線を癌など悪性腫瘍に照射し治療を行う放射線治療です。放射線治療は癌三大治療法の一つで、近年では各治療法の進歩と、化学療法や手術療法と組み合わせる集学的治療を行うことで治療成績は飛躍的に向上しています。当院においても一昨年より放射線治療専門医が赴任し、各診療科と連携し癌診療に貢献しています。

これら画像診断機器、治療法は常に新しい技術が導入されており、我々は画像撮影技術、画像診断、IVRや放射線治療の質を担保できるよう日々精進しています。

外科

川上 晃樹
カワカミ コウキ

本年４月より赴任しました川上晃樹と申します。患者様にベストの医療を提供できるよう頑張ります。宜しくお願い致します。

呼吸器外科

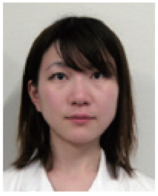
大野 貴志
オオノ タカシ

呼吸器外科の大野貴志と申します。専門医を取得し、質の高い医療提供に努めております。患者さんや家族と良好な関係を築きながら診療します。ネコが好きです。

泌尿器科

山元 惇史
ヤマモト アツシ

令和3年、泌尿器科に着任しました山元惇史と申します。これまで鳥取県での診療しかなく、松江は初めてですが優しく心ある診療をさせていただきます。



外科

松原 加歩
マツバラ カホ

今年より松江赤十字に転勤になりました。話しやすく、患者様の事を第一に考えられるような医師を目指しています。よろしくお願いします。

心臓血管外科

大月 優貴
オオツキ ユウキ

４月から心臓血管外科に赴任することになりました大月優貴と申します。地域の皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

歯科口腔外科

井田 すみれ
イダ

鳥取大学より参りました。患者さまお一人お一人に寄り添い最善な治療ができるよう頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

Clinical Department

診療科紹介

耳鼻咽喉・頭頸部外科

耳鼻咽喉・頭頸部外科は人が生きていくために大切な機能を扱う診療科です。聴覚・嗅覚・味覚・平衡感覚などの感覚器、摂食嚥下・音声言語・呼吸などの機能、耳・鼻・口腔・咽頭・喉頭の専門的診療をおこなっております。地域の耳鼻咽喉科医院では主にその内科的な治療を扱っていただき、当院では中耳炎、副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、声帯ポリープなどの手術療法や頭頸部がん治療を中心に行っております。今回は、頭頸部外科について少し紹介させていただきたいと思います。

耳鼻咽喉科医の専門は、耳・鼻・のどの病気であると一般の方は考えられていますが、実は、脳より下の頭部、鎖骨より上の頸部にできる色々な病気も守備範囲です。特にこの範囲の手術を行う専門分野を頭頸部外科と呼びます。頭頸部腫瘍で頻度の多いものには、口腔がん（舌がん）、咽頭がん、喉頭がんなどがあります。上顎洞という副鼻腔にできる上顎がん、唾液を出す器官である耳下腺や顎下腺にできる腫瘍、身体の代謝に大事なホルモンを分泌する甲状腺や副甲状腺にできる腫瘍も、頭頸部外科で扱っている範囲です。

皆さんが一番心配な頭頸部領域の悪性腫瘍に対しては、頭頸部癌診療ガイドラインに基づいて、集学的治療（手術療法、化学療法、放射線療法、免疫療法などを総合的に組み合わせた治療）を行っています。進行した癌、あるいは高齢者や合併症を有するリスクの高い患者さんにおいても詳しい検討をして、治療方針を決定します。大きな腫瘍では摘出を確実にするために、より広い範囲の摘出手術が必要となることがあります。その場合、摘出したあとの欠損部に対する再建手術（皮膚や空腸の遊離組織移植）を形成外科でおこなってもらい、術後の形態や機能を保つようにしています。

また、近年では内視鏡を用いた経口手術で侵襲の少ない、機能温存が可能な手術も行えるようになりました。このような手術と他の治療法をうまく組み合わせることにより、患者さんの治療後の生活の質を保ち、長生きしていただくように心がけています。何か気掛かりなことがありましたら、出来るだけ早く、耳鼻咽喉・頭頸部外科を受診してください。

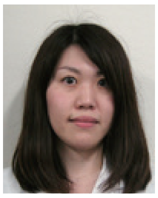
Hello Doctors

2月・4月採用医師紹介

小児科

原野 真一
ハラノ シンイチ

このたび小児科に赴任いたしました原野真一と申します。松江の小児医療に貢献できるよう精進いたします。よろしくお願いいたします。



呼吸器内科

大村 那津美
オオムラ ナツミ

鳥取赤十字病院から赴任してまいりました大村那津美と申します。生まれ育った松江で働けることを幸せに思っています。気軽に何でもご相談ください。

外科

梶　俊介
カジ シュンスケ

消化器外科医として患者さまに安心していただけるような医療を提供できるよう日々精進して参ります。

消化器内科

戎谷 悠里
エビスダニ ユリ

少しでも患者さんのお力になれるように、一生懸命がんばりますのでよろしくお願いします。

循環器内科

平野 文康
ヒラノ フミヤス

循環器内科の平野文康と申します。2年ぶりに日赤に戻って参りました。少しでも皆様のお役に立てるよう、頑張って参りますので、よろしくお願いします。

外科

船橋 功匡
フナバシ ナリマサ

県外出身ですが、島根に来て10年が経ちました。微力ながら、地域の皆様のお役に立てるよう精進して参ります。

＼ みんなで広げよう！ ／

シトラスリボンプロジェクト

作ったリボンを
お配りしています。
本館１階患者総合支援
センター受付まで

Citrus Ribbon
PROJECT

シトラスリボンを知っていますか？
コロナ禍で生まれた差別や偏見をなくし、
「ただいま」「おかえり」と言い合える、思いやりのある
住みやすい社会を作ろうと、愛媛県で始まった活動です。
３つの輪は、「地域」「家庭」「職場（学校）」を表しています。
松江赤十字病院はシトラスリボンプロジェクトに賛同しています。

当院へ市民の方
から頂きました

本館１階の
ツリーに飾りました

シトラスリボン
プロジェクト

先日リボンの
作り方を習いました

■病院理念……**わたしたちは、『人道』の赤十字精神に基づき地域の医療に貢献します。**

■基本方針……

❶地域の基幹病院として、説明と同意に基づく「高度」「良質」な医療を提供します。
❷急性期病院として保健・医療・福祉・介護機関との連携を進め、最善の医療を行います。
❸救急病院として24時間地域の健康を守ります。
❹赤十字病院として災害救護に貢献します。
❺教育病院として次世代の医療人を育てます。

松江赤十字病院『患者さまの権利』

1．ひとりの人間として人格と価値観を尊重される権利があります。
2．医療提供者との相互協力のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
3．検査・治療法などの自分が受ける医療の内容について、わかりやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。
4．説明を十分理解し同意した上で、医療行為を受けるかどうか自分の意志で選択する権利があります。
5．医療行為の選択にあたって、他の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
6．診療の過程で得られた個人情報は、個人の秘密として厳正に保護され、承諾なしには開示されない権利があります。
7．自分が受けている医療内容を知るために、診療録の開示を求める権利があります。

私たちが、上に掲げた患者さまの権利を尊重した医療を提供するために、患者さまには次のことをお願いいたします。

①自分の健康に関する正しい情報の提供　②医療への積極的な参加　③病院の規則を守ること　④研修医、医学生、看護学生などの研修・実習・見学への理解と協力

松江赤十字病院　広報委員会　〒690-8506　松江市母衣町200番地　TEL (0852) 24-2111　FAX (0852) 31-9783
松江赤十字病院ホームページ URL https://www.matsue.jrc.or.jp/
松江赤十字病院公式ブログ「松江日赤ブログ」 URL http://blogmrch.blog112.fc2.com/